プーチンの「ジャスト・イン・タイム」

トヨタが開発の生産管理のシステム

「**必要なものを、必要なときに、必要なだけ」**

**つくり・供給するための　生産管理方式の**

**「ジャスト・イン・タイム」**

ロシアのプーチン開発の

「**必要なものを、必要なときに、必要なだけ」**

**他国から奪うための　侵攻と強奪の計画と実践**

何万種類もの部品が　せめぎ合う自動車工場

効率のよい生産が必要で　部品を効率よく仕入れ

大量生産を可能にし、「三つのム」の

* **ムダ**
* **ムラ**
* **ムリ**

を防ぐ管理方法でも。

トヨタ自動車のシステムは、

* **自働化**
* **ジャスト・イン・タイム**

**プーチンのシステムは**

**・憲法をいじくり法令を乱造し**

**・親ロ「共和国」を乱立し**

・「ジャスト・イン・タイム」で

**「必要なものを、必要なときに、必要なだけ」奪う**

**勝手に署名して　他国の領土を　イタダキ！**

結果

* **無駄がなくなり**
* **短時間で戦果が上がり**
* **より少ない戦費でウクライナを　見せしめに**

**締め上げる**

と思いきや？

トヨタの誇る　「かんばん方式」に倣い

あらゆる手段で　内外への

「情報操作」かんばんを　試みるが

情報操作先進国の　ウクライナの方が

一枚も二枚も上手。

残る手立ては

部下を育成し　目標を達成させる　トヨタ方式

だが　古きロシア帝国や　冷戦時代の共産主義「ソ連邦」

懐旧趣味のロシア派では

21世紀の若者も兵士も

プーチンの　夢多き　時代遅れの

「ジャスト・イン・タイム」の

管理限界を　傍観し　逃避するだけ。

一方　世界のジャスト・イン・タイムも

政治的経済的な理由で　その根幹の

地球規模のサプライ・チェインの崩壊で

先行きは暗い。

時代は変わりつつあるが

変わらないのは　国連とロシアと

無頼派気取りのコロナと　日本だけ。